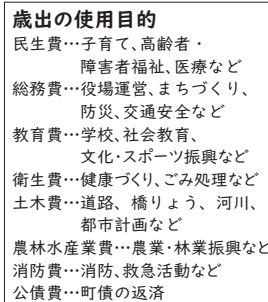


令和5年度決算報告と町の財政状況

国・県からの補助金は、まちづくりにどのように使われたのでしょうか。

令和5年度の決算の概要と町の財政状況について、「えこたんと」の解説を交えてお知らせします。



決算状況

会計名			歳入(a)	歳出(b)	差額(a)－(b)
一 般 会 計			204億4,776万円	193億5,447万円	10億9,329万円
特別会計	土 地 取 得 特 別 会 計		3億8,506万円	3億4,012万円	4,494万円
	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		32億2,083万円	32億1,471万円	612万円
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		5億5,184万円	5億5,083万円	101万円
	介 護 保 険 特 別 会 計		23億9,806万円	23億9,466万円	340万円
	農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計		3億2,949万円	2億8,533万円	4,416万円
公営企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益の収支	7億9,334万円	6億6,637万円	1億2,697万円
		資本の収支	7,520万円	3億7,171万円	▲2億9,651万円
	下水道事業会計	収益の収支	7億698万円	6億9,830万円	868万円
		資本の収支	4億7,170万円	5億4,797万円	▲7,627万円
総 合 計			293億8,026万円	284億2,447万円	9億5,579万円

目的税と交付金・譲与金の使い道

*「充当額」とは、その目的のために使った金額のことをいいます。

都市計画税

目的	事業費	充当額
道路新設改良	1億8,977万円	2,322万円
土地区画整理	5,369万円	3,442万円
公共下水道	4億1,037万円	2億6,317万円
合 計	6億5,383万円	3億2,081万円

地方消費税交付金（社会保障財源分）

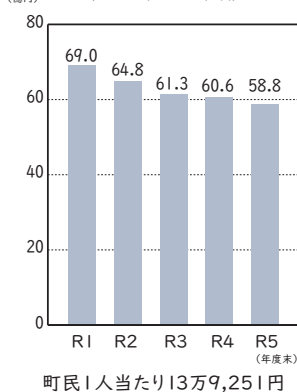
目的	事業費	充当額
社 会 福 祉	37億6,866万円	2億8,538万円
児 童 福 祉	32億714万円	2億2,272万円
保 健 衛 生	8億2,586万円	8,095万円
合 計	78億166万円	5億8,905万円

入湯税

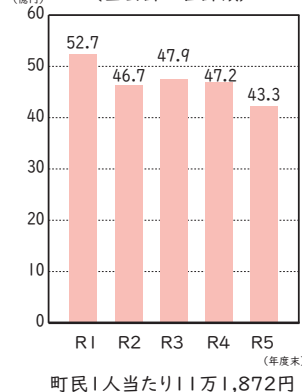
目的	事業費	充当額
観 光	5,373万円	171万円

森林環境譲与税譲与金

目的	事業費	充当額
林 業 振 興	844万円	661万円

町債残高の推移
(全会計の合計額)

借金（町債）の残高は58億7729万円です。道路や学校などの長期間利用する施設を造るときには、一度に多額のお金が必要です。このお金を関係機関から借りて財源とするのが町債です。町債は町の借金ですが、これを適切に活用することで、建設負担を現世代と将来利用する世代とで公平に分けあうことができます。

基金残高の推移
(全会計の合計額)

令和5年度末の貯金（基金）の残高は43億3500万円です。町では、大幅な税収減や災害などに備える「財政調整基金（23億6529万円）」をはじめ10の基金を積み立てています。

貯金と借金

財政状況を家計に例えてみると？

令和5年度の一般会計決算額について町民1人当たりの金額を計算し、皆さんになじみやすい家計項目に例えてみました。

収入

給料(町税など)	35万3,440円
親からの援助 (国・県支出金など)	11万6,945円
ローン(町債)	1万3,861円
合計	48万4,246円

支出

食費(人件費)	9万5,316円
医療費(扶助費)	7万3,882円
ローン返済(公債費)	1万2,575円
光熱水費(物件費)	10万3,773円
自宅の修繕(維持補修費)	1万5,411円
町内会費や募金(補助費等)	5万8,096円
貯金(積立金)	2,427円
投資や運用 (投資及び出資金、貸付金)	7,399円
仕送り(繰出金)	2万2,333円
自宅の増改築 (普通建設、災害復旧費)	6万7,142円
来年度に支払うお金(繰越明許)	2,675円
繰越金(実質収支)	2万3,217円
合計	48万4,246円

えこたんの解説

家計と町の財政ではお金の使い方も規模も違うから単純には比べられないけど、こうして眺めると感じがつかめるね。

幸田町がこの先も、住む人みんなが幸せを感じられる町でいられるように、お金を大切に使うことが重要だよ。



町民1人当たりの金額は、令和5年度の一般会計決算額を総人口42,226人(令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口)で割ることにより計算しました。

健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、町の令和5年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」をお知らせします。

4つの指標で厳しくチェック 健全化判断比率

全国の地方公共団体は、毎年度の財政状況を統一的に確認するために、4つの財政指標である「健全化判断比率」を公表することが義務付けられています。これらの指標の一つでも早期健全化基準を超えた場合はイエローカード「早期健全化団体」となり、財政状況を改善するための計画を作らなければなりません。町は、いずれの指標も基準を下回りました。

4つの指標	健全化判断比率	基準値
実質赤字比率	—	13.33%
連結実質赤字比率	—	18.33%
実質公債費比率	0.4%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

赤字はありませんか 資金不足比率

「資金不足比率」は、公営企業会計における料金収入に対する資金不足額(赤字額)を確認する指標です。経営健全化基準を超えた場合は、経営を健全にするための計画を作らなければなりません。町には、資金不足を生じた公営企業会計はありませんでした。

公営企業会計	資金不足比率	基準値
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

えこたんの解説



町は法律の基準を全部クリアしたよ。これからも健全な財政を心掛けていくよ。

決算審査報告

幸田町監査委員

大浦 裕
おおの ゆう
黒木 一
くろき ひとし

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率などについては、健全な数値と認められた。

令和5年度決算は、町税全体で増収となったが、重要な財源となっているふるさと寄附金は減収となった。年々増加する社会保障関係費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後とも予算を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いた的確な予算配分などを含め、適正な公金支出に心掛け、町の発展、より良い行政サービスのため、一層の職務に精励されたい。

豊坂小学校校舎増築



在宅介護支援交付金



令和5年度の 主な事業

町民の皆さんの未来につながる
暮らしやすいまちづくりに
取り組みました



省エネ家電補助金



岩堀住民広場整備



中央公園休憩所整備



災害対応特殊救急自動車整備

問合せ 財政課 財政グループ ☎(0564)62-1111(内線323・324) FAX(0564)63-5139